

5 操作手順（システム管理者編）

5.1 マスタテーブルの登録・変更方法

マスタテーブルの登録・変更方法は MS Access97 により行う。

以下に各テーブルの登録時に留意する点について述べる。

5.1.1 取引先の登録時の留意点

MS Access97 を立ち上げ「取引先テーブル (torihikisaki)」を開き、取引先情報を登録する。以下の項目は必ず入力する。

表 5.1.1 - 1 取引先テーブル必須項目

データ項目名
取引先コード
取引先名



torihikisaki_code	torihikisaki_mei	bikou	saisyuu_henkou
1234	AAA株式会社	テスト用コード 4桁	
987600	CCCC重工栃木工場	テスト用コード 6桁	
123456789012345	D工業	テスト用コード 16桁	
A123	E電気	テスト用コード 先頭英字4桁	
12A9	F商事	テスト用コード 途中英字4桁	
5678-1234	G部品工業	テスト用コード 途中記号9桁	
*			

図 5.1.1 - 1 取引先テーブルの編集

5 . 1 . 2 ユーザの登録時の留意点

MS Access97 を立ち上げ「ユーザ管理テーブル (user_kanri)」を開きユーザ情報を登録する。以下の項目は必ず入力する。

表 5 . 1 . 2 - 2 ユーザ管理テーブル必須項目

データ項目名	備考
ユーザ ID	
パスワード	
取引先コード	取引先テーブルに定義済のものを指定する
アクセスレベル	0 : 発注側 1 0 : 受注側

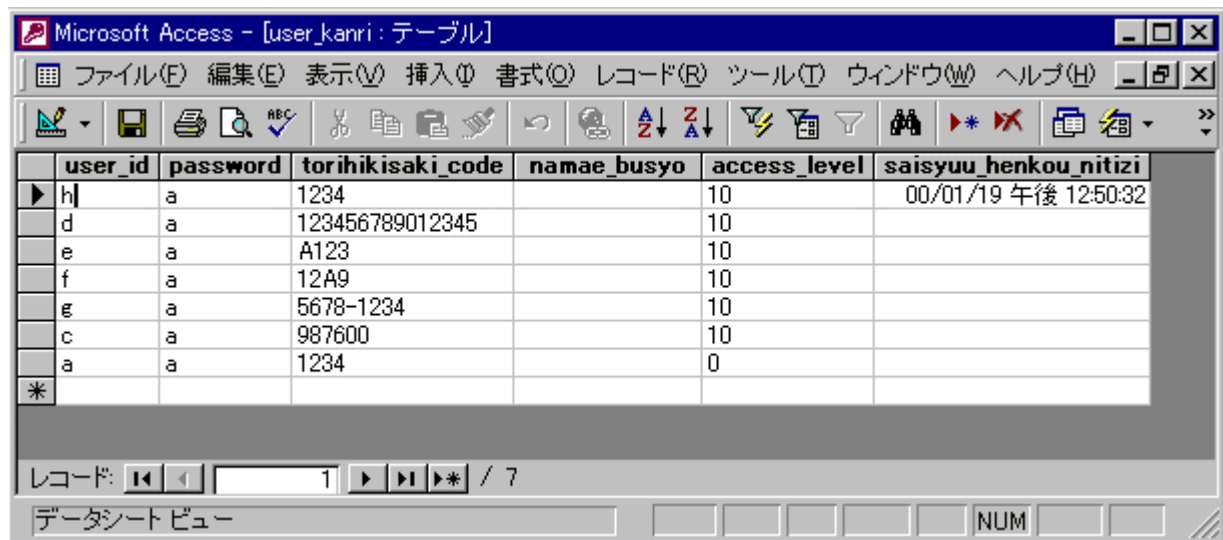


図 5 . 1 . 2 - 1 取引先テーブルの編集

5.2 受発注に伴う技術情報交換システムサーバ設定の確認・変更方法

SWG72 サーバの各種設定（パラメータ）については以下のファイルを参照して動作している。

表 5.2-1 SWG72 サーバ設定定義ファイル

ファイル名	設定形式
/home/swg72/config/SWG72Config.p m	設定変数名 = “設定する文字列”;

現在の SWG72 サーバの設定を確認するには、このファイルの定義内容を確認する。定義内容の変更が必要な場合には、このファイルの各項目を編集し、SWG72 サーバを再起動する。

5.2.1 自社コード（受注側における取引先コード）の設定の仕方

発注側が自社コードを設定するには、以下の項目を設定する。ここで設定したコードは受注側画面では「取引先コード」として設定される。

表 5.2.1-1 自社コード（受注側における取引先コード）の設定

設定項目名	設定変数名	設定例
受注会社用取引 先コード	\$ACCEPT_COMPANY _CODE	\$ACCEPT_COMPANY_CODE = "987600";

5.2.2 各受理用ディレクトリの設定の仕方

自社システムと連携するための各種 CSV ファイル、閲覧形式、送付形式の各ファイルを自社システムから受理するためのディレクトリを定義する。

表 5.2.2-1 受理用ディレクトリの設定

設定項目名	設定変数名	設定例
技術情報・配布 CSV 保管場所	\$TECHINFO_D IR	\$TECHINFO_DIR = "/home/swg72/incoming/tech";
見積・発注情報 CSV 保管場所	\$ORDERINFO_ DIR	\$ORDERINFO_DIR = "/home/swg72/incoming/order";

5 . 2 . 3 各種ログファイル等の設定の仕方

SWG72 サーバ実行に伴い各種ログ情報及び、バッチ処理により CSV ファイルが出力されるが、それらのパス名を以下の項目により定義する。

表 5 . 2 . 3 - 1 各種ログファイル等の設定

設定項目名	設定変数名	設定例
技術情報・配布 取込みエラー ファイル	\$TECHINFO_ERR	\$TECHINFO_ERR = "/home/swg72/order/logs/tech_err.log.txt";
見積・発注情報 取込みエラー ファイル	\$ORDERINFO_ERR	\$ORDERINFO_ERR = "/home/swg72/order/logs/order_err.log.txt";
ログファイル(発注側)	\$ORDER_LOG_FILE	\$ORDER_LOG_FILE = "/home/swg72/order/logs/order.log.txt";
ログファイル(受注側)	\$ACCEPT_LOG_FILE	\$ACCEPT_LOG_FILE = "/home/swg72/accept/logs/accept.log.txt";
通知記録 出力ファイル	\$MAILLOG_FILE	\$MAILLOG_FILE = "/home/swg72/order/logs/mailllog.csv";
閲覧記録 出力ファイル	\$UNREADLOG_FILE	\$UNREADLOG_FILE = "/home/swg72/order/logs/unreadlog.csv";

5.3 時間動作コマンドの設定方法

自社システムと連携するための各種ファイルを時間設定によって自動で取り込む機能等の各種自動処理を動作させる時間については以下のファイルを参照して動作している。

表 5.3-1 時間設定定義ファイル

ファイル名	設定形式
/home/swg72/config/SWG72Cron.pm	設定変数名 = “設定する文字列”;

5.3.1 各種処理時間の設定の仕方

自社システムと連携するための各種 CSV ファイル、閲覧形式、送付形式の各ファイルを時間設定によって自動で取り込むための機能等を動作させる時間を定義する。

表 5.3.1-1 各種処理時間の設定

設定項目名	設定変数名	設定例
技術情報・配布 CSV 取り込み時間	\$TECHINFO_RUN_HOUR	\$TECHINFO_RUN_HOUR = "1:0";
見積・発注情報 CSV 取り込み時間	\$ORDERINFO_RUN_HOUR	\$ORDERINFO_RUN_HOUR = "1:30";
通知記録 出力時間	\$MAILLOG_SAVE_HOUR	\$MAILLOG_SAVE_HOUR = "14:38,1:50";

なお、排他処理の関係上、技術情報・配布 CSV 取り込み時間と見積・発注情報 CSV 取り込み時間に同じ時刻を指定してはならない。

5 . 3 . 2 各種処理時間の設定登録の仕方

上記時間設定ファイルの設定内容を以下のコマンドにより登録する。

swg72 ユーザで実行する。

```
swg72sv:~> cd order/batch/
swg72sv:~/order/batch> ./swg72o-cron-set.pl
0 1 * * * /home/swg72/order/batch/swg72o-tech-load.pl
30 1 * * * /home/swg72/order/batch/swg72o-order-load.pl
38 14 * * * /home/swg72/order/batch/swg72o-csv-save.pl
50 1 * * * /home/swg72/order/batch/swg72o-csv-save.pl
/usr/bin/crontab /tmp/swg72o-cron-set.716
終了しました
swg72sv:~/order/batch>
```

実行例 5 . 3 . 2 - 1 インストールコマンドの実行

5 . 3 . 3 各種処理時間の設定登録確認

以下の確認を行うことにより、各種時間動作コマンドが定時に自動起動されることを確認する。

```
swg72sv:~/order/batch> crontab -l
# DO NOT EDIT THIS FILE - edit the master and reinstall.
# (/tmp/swg72o-cron-set.716 installed on Thu Feb 24 12:07:41 2000)
# (Cron version -- $Id: crontab.c,v 2.13 1994/01/17 03:20:37 vixie Exp $)
0 1 * * * /home/swg72/order/batch/swg72o-tech-load.pl
30 1 * * * /home/swg72/order/batch/swg72o-order-load.pl
38 14 * * * /home/swg72/order/batch/swg72o-csv-save.pl
50 1 * * * /home/swg72/order/batch/swg72o-csv-save.pl
swg72sv:~/order/batch>
```

実行例 5 . 3 . 3 - 1 自動起動スクリプトの登録確認

5 . 4 発注側入力ファイルと受理用ディレクトリの対 応

自社システムから渡される各種発注側入力ファイルと SWG72 サーバ上の受理用ディレクトリの対応は以下に示す通りである。

自社システム側と SWG72 サーバのファイルの受け渡しについては、プロトコルは規定しない。FTP、NFS、SMB 等の任意のプロトコルを受け渡しに使用してよい。

表 5 . 4 - 1 発注側入力ファイルと受理用ディレクトリの対応

発注側入力ファイル	受理用ディレクトリ (設定変数名)
発注側入力用技術情報 CSV ファイル	\$TECHINFO_DIR
発注側入力用見積発注 CSV ファイル	\$ORDERINFO_DIR
発注側入力用閲覧形式 CSV ファイル	\$TECHINFO_DIR
発注側入力用送信形式 CSV ファイル	\$TECHINFO_DIR

受理用ディレクトリの具体的な値については

「 5 . 2 . 2 各受理用ディレクトリの設定の仕方」
参照のこと。